

取扱説明書

polytune³



POLYTUNE 3

Bonafide Buffer と複数のチューニングモードを搭載したポリフォニックチューナー

tc electronic

安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを説明しています。

警告

- ・ **異常がある場合はただちに使用を中止する**：焦げくさいにおいがする、煙が出ている、物や液体が入ったなど、感電、火災の原因になります。直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へサービスをご依頼ください。
- ・ **濡らさない**：感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **内部に異物を入れない**：水や金属が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **分解／改造はしない**：感電、火災、故障の原因になります。

注意

- ・ **高温になる場所や熱のこもりやすい場所で使用、保管、放置しない**：火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などで使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 - ・ **乳幼児の手の届く所に置かない**：サイズの小さな付属品などは飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。
 - ・ **強い圧力を加えたり折損させたりしない**：ポケットの中やカバンの中など強い圧力がかかる場所に保管しないで下さい。火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。
 - ・ **ぬれた手で使用しない**：感電、火災、故障の原因になります。
 - ・ **対応した電源アダプター以外を使用しない**：指定された容量 (9VDC センターマイナス 100mA 以上) の電源アダプター以外は本製品ではご利用いただけません。故障の原因になりますので、電源アダプターは必ず本書で指定された容量のアダプターのみをご利用ください。
- ※廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

1. はじめに

世界初のポリフォニック・チューナーとして、初代 POLYTUNE はギタリストの心を虜にしました。

MonoPoly テクノロジー（1本の弦をチューニングするのか、全弦をチューニングするのかを自動的に検出する）などの機能により、ベースやギターのチューニングはかつてないほど速く簡単になりました。

TC Electronic はこのベストセラーを進化させるために以下のアップデートを行いました。

- ・ポリフォニック、クロマチック、ストロボ、さまざまな変則チューニングを含む複数のチューニングモードの内蔵
- ・長いケーブル配線やペダルボードの信号経路でもトーンを維持できる Bonafide Buffer の内蔵
- ・チューニングの精度を高めるために LED ディスプレイのアップグレード

POLYTUNE 3 の誕生です。

1.1 同梱物

POLYTUNE 3 には以下のものが同梱されています。

- ・ペダル本体
- ・クイックスタートガイド (英文)
- ・QC (クオリティコントロール) PASS 証明書

※内容物は予告なく変更される場合があります。

1.2 セッティングをする

DC INPUT に DC センターマイナス電源アダプターを接続します。(以下の記号があるもの)



POLYTUNE 3 には電源アダプターが付属しません。

標準的な 9VDC 電源アダプターでも動作しますが、TC Electronic/PowerPlug 9 をご利用いただくことを推奨いたします。

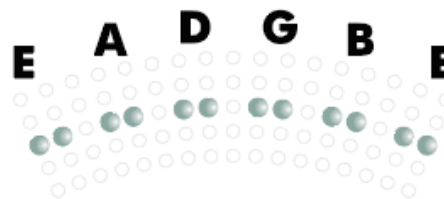
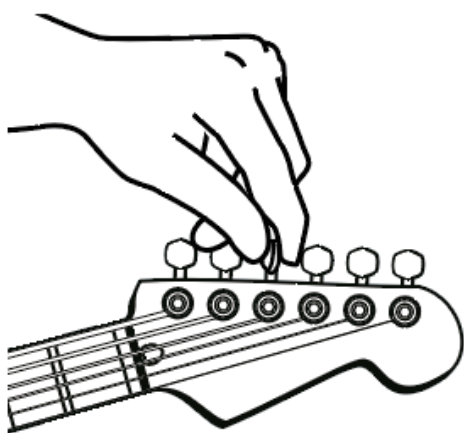
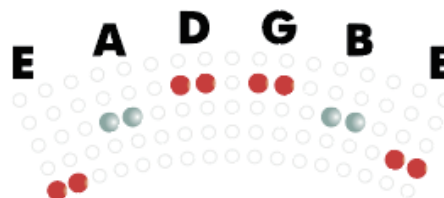
- ・9V 電池でも電源を供給することが可能ですが、DC OUT ジャックを使用して、他のペダルに電源を供給する場合は、電源アダプターを使用してください。
- ・電源アダプターをコンセントに接続します。
- ・INPUT ジャックに 1/4"(6.35mm) の TS ケーブルを接続します。
- ・OUTPUT ジャックから他のペダルやアンプも 1/4"(6.35mm) の TS ケーブルを接続します。
- ・他の 9VDC ギターペダルへ電源を供給する際は、背面の DC OUT ジャックを使用してください。

1.3 チューニングを始める

POLYTUNE 3 のチューニングは、素早く直感的に行うことが可能です。

マニュアルを読むのが面倒な場合は、楽器を鳴らしながらディスプレイを確認してみてください。

きっとお分かりいただけるはずです。



1.4 True Bypass

TC ELECTRONIC にはシンプルな哲学があります。

“ 私たちの製品を使っている時は素晴らしい音を聴くべきで、使っていない時に邪魔をするべきではありません。 ”

これが、このペダルに True Bypass を搭載した理由です。ペダルが OFF の時はトーンに影響しません。

POLYTUNE 3 では、True Bypass と Buffered Bypass の 2 つのモードを切り替えることができ、後者では、信号がミュートされていない時でもチューナーがフル稼働する「オールウェイズオン」オプションを選択できます。

これによりチューニングがよりシンプルに、より効率的になりました。

詳しくは、「バイパスモードの切り替え」をご覧ください。

1.5 太陽にも負けない明るさ

チューニングが必要な時は、チューナーが必要です。

そんな時に心配になるのは、クラブのステージには明るすぎるか、午後のギグの明るい日差しの下では使い物にならないディスプレイではないでしょうか。POLYTUNE 3 のディスプレイには、これまで見たこともないような明るい LED が搭載されています。また、環境光センサーにより、常に適切な明るさを得ることができます。

1.6 ストロボチューニング

TC Electronic は、皆様からのストロボチューナーに対する多くの要望を受け、電光石火の速さと超高精度を併せ持つ新しいストロボモードを追加しました。また、ピッチ検出精度は± 0.02 セントで、どこにいても大切な楽器をチューニングするのに最適なツールです。

1.7 トータルリコール

POLYTUNE 3 は、あなたの好みを保存します。リファレンスピッチから選択されたチューニングモードまで、これらの情報は電源を切った後も保持されます。また、楽器を接続すると現在の設定が表示されます

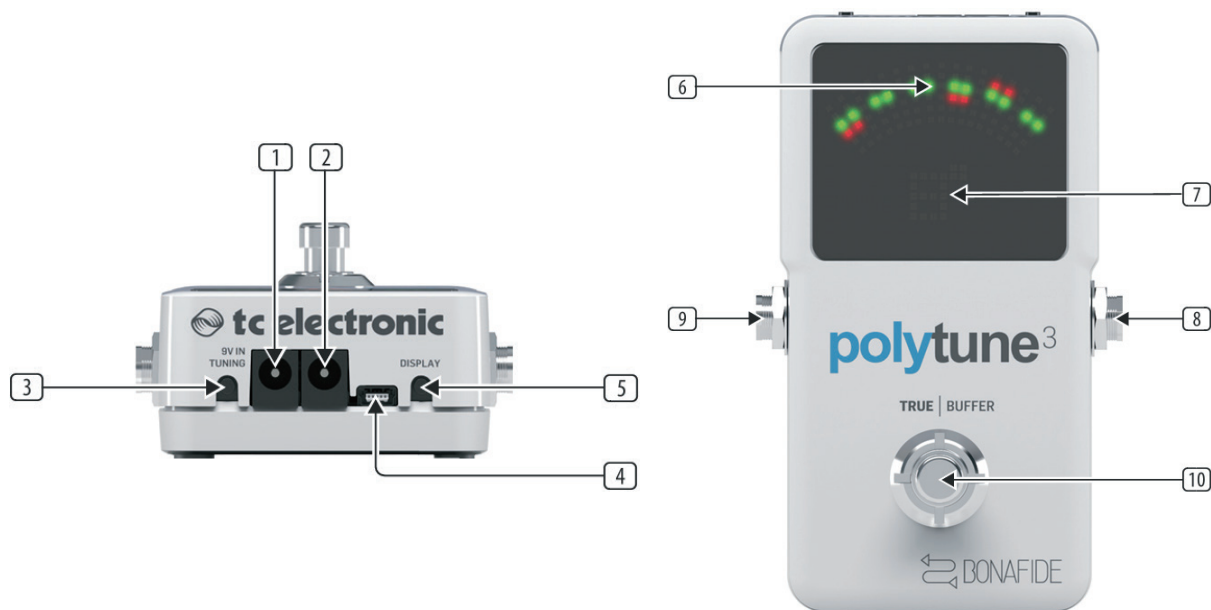
もちろん、POLYTUNE 3 には、オリジナルの POLYTUNE に搭載され、ユーザーの皆様に愛されてきた機能がすべて備わっています。

- POLYTUNE®：全ての弦を同時にチューニング
- ギターおよびベースに対応
- Drop-D とカポチューニングに対応
- True Bypass と Buffered Bypass の切り替え
- 他のペダルに電源を供給するための DC 出力

POLYTUNE 3 を使えば、楽器のチューニングをこれまで以上に素早く簡単に行うことができます。

お楽しみください！

2. コントロール



① **POWER INPUT** : 電源アダプター (9VDC センター マイナス /100mA 以上) を接続します。TC Electronic/ PowerPlug 9 を推奨します。

② **POWER OUTPUT** : 他のペダルをデジチェーン接続して 9VDC を供給することが可能です。

- 接続されている電源アダプターが接続された全てのペダルの合計消費電流値をカバーしていることを確認してください。
- デジチェーン接続されたペダルの合計消費電流値が 2A を超えない様にしてください。

③ **TUNING MODE** : 楽器のチューニングに合わせて、このボタンで設定をします。標準 (「e」)、またはドロップチューニングやカポモードのいずれかを選択してください。選択したチューニングモードは保存され、POLYTUNE 3 の電源を再投入すると呼び出されます。

④ **USB** : ファームウェアアップデートに使用します。

⑤ **DISPLAY MODE** : このボタンで画面表示を変更します。選択したディスプレイモードは保存され、POLYTUNE 3 の電源を再投入すると呼び出されます。

⑥ **DISPLAY** : チューニングを表示するディスプレイです。

⑦ **AMBILIGHT SENSOR** : 周りの明るさを自動的に検出し、それに応じてディスプレイ LED の明るさを自動的に調整します。

⑧ **AUDIO INPUT** : オーディオ入力用の 1/4" TS 端子です。ケーブルを接続すると画面に現在のモードが表示されます。

⑨ **AUDIO OUTPUTS** : オーディオ出力用の 1/4" TS 端子です。

⑩ **FOOTSWITCH** : チューナーの ON/OFF を行います。オールウェイズオンモード時は、ミュートを切り替えます。

3. オペレーション

3.1 クロマチックチューニングとポリフォニックチューニング

非常にシンプルなギターチューナーでは、開放弦を 1 弦ずつチューニングすることしかできません。

例えば、ギターの標準チューニングは E-A-D-G-B-E です。

POLYTUNE 3 はクロマチックチューナーのため、スケールの 12 音すべてを検出し、チューニングすることができます。しかし、それだけではありません。従来のチューナーとは異なり、POLYTUNE 3 はチューニングの際に楽器のすべての弦を同時に鳴らしてチューニングを行うことができるポリフォニックチューニングモードが備わっています。

POLYTUNE 3 は、内部的にそれぞれの弦の周波数帯域を検出し、画面に 1-6 弦までのチューニング情報を表示します。これにより、楽器をより速くチューニングすることができます。最後に、楽器の 1 本または全部の弦を標準チューニングとは異なる方法でチューニングしている場合や、カポを使っている場合でも POLYTUNE 3 があれば大丈夫です。

3.2 ディスプレイモード

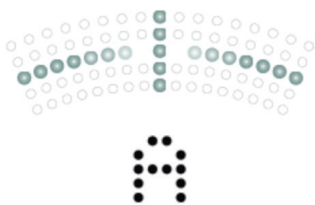
POLYTUNE 3 の背面にある DISPLAY MODE ボタンを 1 回押すと、現在選択されているディスプレイモードが表示されます。ボタンを繰り返し押すと、以下のようにモードが切り替わります。

- ギター / ニードルモード (「G」 と表示され、中央の LED が十字に点灯)
- ギター / ストロボモード (「G」 と表示され、中央の LED 横列が点灯)
- ベース / ニードルモード (「B」 と表示され、中央の LED が十字に点灯)
- ベース / ストロボモード (「B」 と表示され、中央の LED 横列が点灯)

3.3 ニードルモード

ニードルモードでは、1 本の弦をチューニングする際、ディスプレイの上部にある LED の列が音程を示し、ディスプレイの下部には目標とするノート名が表示されます。

チューニングしている弦が低すぎる場合は、LED が左側に点灯します。弦が高すぎる場合は、LED が右側に点灯します。中央の列と中央の列の緑の LED が点灯するまで、チューニングを行います。(下記画像参照)



Needle mode – A string in tune

3.4 ストロボモード

ストロボモードでは、正しい（目標）周波数と実際に検出された周波数との差が、2つのインジケータで同時に表示されます。

1. 赤色 LED：中央の LED 列の左側（ピッチが低すぎる）または右側（ピッチが高すぎる）に表示されます。
2. ディスプレイの回転セグメント：検出された周波数が目標周波数に近いほど、回転は遅くなります。回転パターンが停止し、中央の列の緑色の LED だけが点灯するまで、弦をチューニングします。

3.5 ポリフォニックチューニング

ご存知の通り、POLYTUNE 3 はポリフォニック・チューナーです。

楽器をかき鳴らすと、POLYTUNE 3 がすべての弦のチューニングを分析して表示します。

では、どうやってポリフォニック・チューニング・モードを起動するのでしょうか？

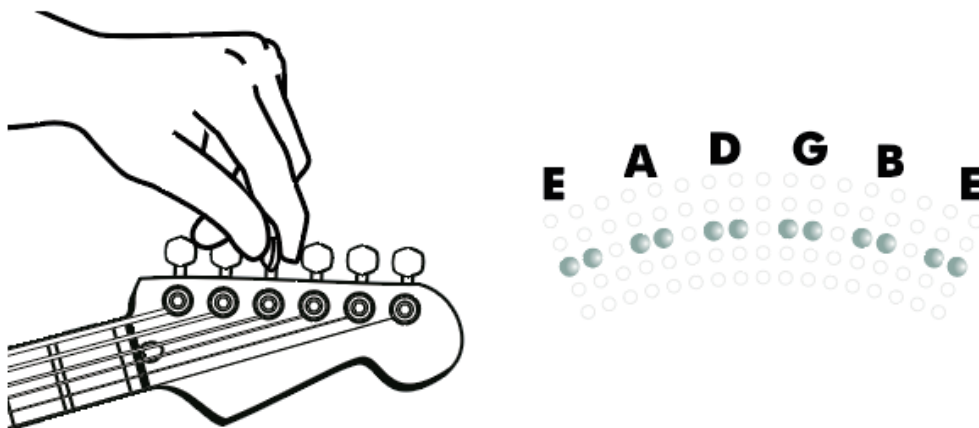
考える必要はありません、全ての弦を一気にかき鳴らしてみてください！



全ての弦を同時にならすとポリフォニックチューニングモードが起動します。

チューニングが完了している弦は緑色の LED で表示され、チューニングが必要な弦は赤色の LED で表示されます。

中心列より上側に赤色 LED が表示された弦は基準より高い音程、下側に表示された弦は基準より低い音程にチューニングされているので、これを参考に再度チューニングを行います。



ギターのチューニングが完了したら、再度全ての弦を鳴らします。

全ての弦の LED が中心列に緑色の LED で表示されたらチューニングが完了している証拠です。

もちろん、実際に存在し、演奏されている弦だけが表示されますので、4 弦ベースをチューニングした場合は 4 つの LED 列だけが点灯します。

3.6 ドロップD チューニング

ドロップDは、ギターの6弦をEからDにチューニングダウン（ドロップ）する一般的なチューニングです（D-A-D-G-B-Eとしても知られています）

- 1. POLYTUNE 3 のフットスイッチを約 3 秒間押し続けます。
- 2. 「DROP 」という文字が短く表示され、ディスプレイ下部のデフォルトの「ready for tuning 」インジケーターが小さな四角から「d」に変わります。
- 3. POLYTUNE 3 を標準チューニングに戻したい場合は、フットスイッチをもう一度 3 秒間押し続けます。
- 4. 「STD 」が短く表示され、「ready for tuning 」インジケーターが小さな四角に戻ります。

3.7 オルタナティブチューニング & カポモード

ギタリストが全員標準的な E-A-D-G-B-E チューニングだけを使っているわけではありません。
楽器のすべての弦を下げてチューニングしているかもしれませんし、カポを使っているかもしれません。
その場合は、TUNING MODE ボタンを押して、POLYTUNE 3 のチューニングモードを変更できます。
TUNING MODE ボタンを 1 回押すと、現在のチューニングが表示されます（標準チューニングの場合は「--E--」）
チューニング・ボタンを繰り返し押すと、次のように切り替わります。

ディスプレイ	モード
--- E ---	標準
Eb	全弦半音下げ (1 セミトーン)
D	全弦 1 音下げ (2 セミトーン)
Db	全弦 1 音半下げ (3 セミトーン)
C	全弦 2 音下げ (4 セミトーン)
B	全弦 2 音半下げ (5 セミトーン)
F1	1 フレットにカポを装着した状態 (半音上げ)
Gb 2	2 フレットにカポを装着した状態 (1 音上げ)
G 3	3 フレットにカポを装着した状態 (1 音半上げ)
Ab 4	4 フレットにカポを装着した状態 (2 音上げ)
A 5	5 フレットにカポを装着した状態 (2 音半上げ)
Bb 6	6 フレットにカポを装着した状態 (3 音上げ)
B 7	7 フレットにカポを装着した状態 (3 音半上げ)

TUNING MODE ボタンを 2 秒間操作しなかった場合、ディスプレイが 2 回点滅し、選択されたチューニングが使用されます。選択したチューニングモードは保存され、POLYTUNE 3 の電源を再投入すると呼び出されます。

3.8 リファレンスピッチの変更

- リファレンスピッチを 440Hz から変更する必要がある場合は、以下の手順に従います。
- 1. DISPLAY MODE ボタンと TUNING MODE ボタンを同時に押します。
 - 2. ディスプレイに現在のリファレンスピッチが表示されます（例：440Hz の場合は「440」）。
 - 3. ピッチを上げるには、TUNING MODE ボタンを押します。(1Hz ごと)
 - 4. ピッチを下げるには、DISPLAY MODE ボタンを押します。(1Hz ごと)
 - 5. 現在表示されているリファレンスピッチを確定するには 2 秒間操作をしないでください。
- 選択した基準ピッチは保存され、POLYTUNE 3 の電源を再投入したときに呼び出されます。

4. オペレーション (バイパスモード)

4.1 True Bypass と Buffered Bypass について

True Bypass モードは、ハードワイヤードバイパスで、ペダルがバイパスさせている場合は元のトーンに全く絵以上を与えません。これがデフォルトのモードです。

すべてのペダルに True Bypass を使用することは、ペダルの数が少なく、ペダルの前後のケーブルが比較的短いセットアップに最適です。

ですが

- ギターと最初のペダルの間に長いケーブルを使用している場合
- ボード上で多くのペダルを使用する場合
- ボードからアンプまで長いケーブルを使用している場合

この場合は、シグナルチェーンの最初と最後のペダルを Buffered Bypass モードに設定するのが最善の解決策です。

あなたは True Bypass モードか Buffered Bypass モードかの違いを聴き分けられますか？

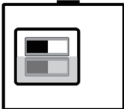
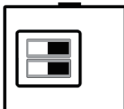
アクティブピックアップかパッシブピックアップか、シングルコイルかハムバッカーか、ケーブルの質、アンプのインピーダンスなど、様々な要因により条件が異なるため、答えはひとつではありません。

あなたの耳で、あなたのセットアップに最適なソリューションを見つけてください！

4.2 バイパスモードの切り替え

バイパスモードを変更するには、以下の手順に従います。

1. ペダルに接続されている全てのケーブルを外し、裏返します。
2. ペダルのバックパネルを外します。
3. 左上にある DIP スイッチで 3 つのモードを切り替えます。

スイッチの状態	スイッチ	モード
両方のスイッチが左側		True Bypass
上のスイッチが右側 下のスイッチが左側		Buffered Bypass
両方のスイッチが右側		Buffered Bypass(オールウェイズオンモード)

4. DIP スイッチを希望するモードに切り替えたことを確認します。
5. バックパネルを再度取り付けます。

仕様

INPUT	6.3mm TS アンバランス、1MΩ
OUTPUT	6.3mm TS アンバランス、100 Ω
Bypass Mode	True Bypass または Buffered Bypass
USB	USB-mini B コネクター (ファームウェアアップデート用)
電源	スタンダード 5.5 x 2.1 mm DC
消費電流	9V センターマイナス 100 mA(アダプター別売り、電池駆動可)
サイズ (H x W x D)	50 x 72 x 122 mm

TC Electronic 総輸入販売元

株式会社エレクトリ

〒 105-0022

東京都港区海岸 2-7-70

HP:<https://www.electori.co.jp/>

※本ドキュメントの弊社以外のサイトや SNS における 2 次配布は禁止致します。

また、弊社の許可なく本ドキュメント内の表現、データを使用することを禁止致します。

tc electronic